



目指す子ども像 ふるさとを愛し、心豊かでたくましい子ども

## 東目屋地区コミュニティ・スクール通信



第1号 平成29年2月9日 東目屋小・中学校 文責(佐藤)

東目屋小・中学校は、弘前市教育委員会から「教育自立圏」調査研究校に指定されました。今年度と来年度の2年間で「教育自立圏」の中核である『小中一貫教育システム』と『コミュニティ・スクール』の導入に向けて調査研究をしています。保護者や地域の皆様に、『小中一貫教育システム』と『コミュニティ・スクール』とは何なのか、学校がどう変わっていくのか等、「東目屋地区コミュニティ・スクール通信」を通してお伝えしていきたいと思ひます。

### コミュニティ・スクールってなあに？

コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆さんが共に知恵を出し合い、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。地域に開かれ、地域に支えられた、信頼される学校づくりを進めようとするものです。



第2回ホリデープラン  
科学工作&実験マジック

### コミュニティ・スクールって、具体的にどんなことをするの？

保護者や地域住民の代表の方から構成される学校運営連協連議会（正式には学校運営協議会ですが、弘前市の場合調査研究の時期なので「連絡」という言葉が使われています）が設けられ、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について協議したりしながら進めていきます。保護者や地域の皆さんの意見を反映させながら、学校・保護者・地域の三者で子どもたちの成長に必要なことを考え、それに基づいた活動を行っていきます。



スキー教室支援  
東目屋スキー倶楽部

東目屋中学校区では、今までも保護者の皆さんや地域の方々の協力のもと、子どもたちが多くのことを体験しながら学んできました。例えば、地域クリーン作戦、りんご栽培学習、ねぶた祭り、もちつき会、ホリデープラン… などがあります。このような活動も含めて、地域の活性化のため、そして、「ふるさとを愛し、心豊かでたくましい子ども」(小・中学校共通で掲げる目指す子ども像)を育てるために、学校とどんな連携を図っていくか、学校への協力依頼、または学校からの協力依頼の窓口的組織としてコミュニティ・スクールの学校運営連絡協議会を活動させていきたいと考えております。



中学生雪片付けボランティア

### 小中一貫教育は何のために行うのですか？

- ①情報交換だけでなく、9年間を見通した系統的な教育活動を計画し、小・中学校間の学習面や生活面のギャップを少なくします。
- ②目指す子ども像を共有することで教員相互の連携を活性化し、教職員の意識改革と指導力向上を図ります。(東目屋地区の目指す子ども像は上述の**太字の部分**です)
- ③義務教育9年間を一貫した教育で、郷土に学び、未来をつくる「弘前っ子」を育成します。

## 今までの小学校・中学校と どこが違うのですか？

従来より、合同運動会やりんご栽培学習など小中連携は行われていますが、児童生徒の交流が主で教員の交流については少なかったもので、一貫校としてつながりをもった指導が必要と考えます。そこで、今後は相互に学校を行き来する機会を増やし、お互いの様子をよく知り、授業づくりや生活指導面でも共通のテーマをもって取り組んでいくこととしました。また、児童生徒の交流についてもあいさつ運動や全校集会を合同で実施するなど機会を増やしていきたいと考えています。(詳しくは、次号以降で紹介していきます)



小学生に合わせて踊る中学生

## 第1回学校運営連絡協議会が開催される

2月1日(水)  
18:30～

2月1日(水)にコミュニティ・スクール移行に向けて初めての学校運営連絡協議会を中学校図書室で開催しました。東目屋中学校区では、委員の選定にあたって地区の各組織代表の方にも依頼したため、小中合同で開催しました。最初に、小・中学校からそれぞれの教育活動に対する保護者アンケートや教職員による自己評価の結果について説明がありました。中学校からは進路情報を活用する力の不足、小学校からは家庭学習の習慣化などの課題があげられました。次に、「教育自立圏」調査研究校として、今年度の取り組みと次年度の計画概要について中学校校長が説明しました。



最後の意見交換の場では、コミュニティ・スクールやその中核でもある学校運営連絡協議会、そして小中一貫教育について、保護者や地域に向けて周知・理解を浸透させるために、もっと学校から情報発信していくことを確認しました。

	東目屋中学校区コミュニティ・スクール 運営連絡協議会委員(敬称略)			
1	小学校		中学校	
2	笹谷 哲	総振協会長・連合町会長	西澤 敏朗	東目屋地区民生委員協議会会長
3	三浦 勇二	児童館長	三上 金喜	公民館長
4	吉谷 聡仁	東目屋地区主任児童委員	三上 れい	東目屋青少年育成委員長
5	佐藤 一人	小中学校評議員	桑田 勝廣	中学校同窓会長
6	田澤 裕	小学校評議員	繁田 昇	中学校評議員
7	竹内 洋介	小学校PTA会長	笹谷 哲人	中学校PTA会長
8	玉田 嘉昭	校長	坂田 清人	中学校PTA役員
9	鎌田 悟	教頭	佐藤 浩一	校長
			今 智人	教頭

親子で一緒に実験



## 最後のホリデープラン

1月29日(日)

10:00～12:20

東目屋ふれあいセンターで「科学工作&実験マジック」が行われました。講師の板柳町在住で少年少女発明クラブ顧問の野呂茂樹氏から、空気の圧力や重力、薬品を使ったマジックが紹介されました。参加者は小学生17名、大学生が2名、保護者が19名、教員5名でした。なお、主催した生涯学習推進委員会(役員は小中学校PTA役員で構成)は地区の組織改編で次年度からなくなります。したがって、今回のホリデープランは生涯学習推進委員会として最後になります。地域の子どものための育成事業は他の委員会に引き継がれていくことになります。